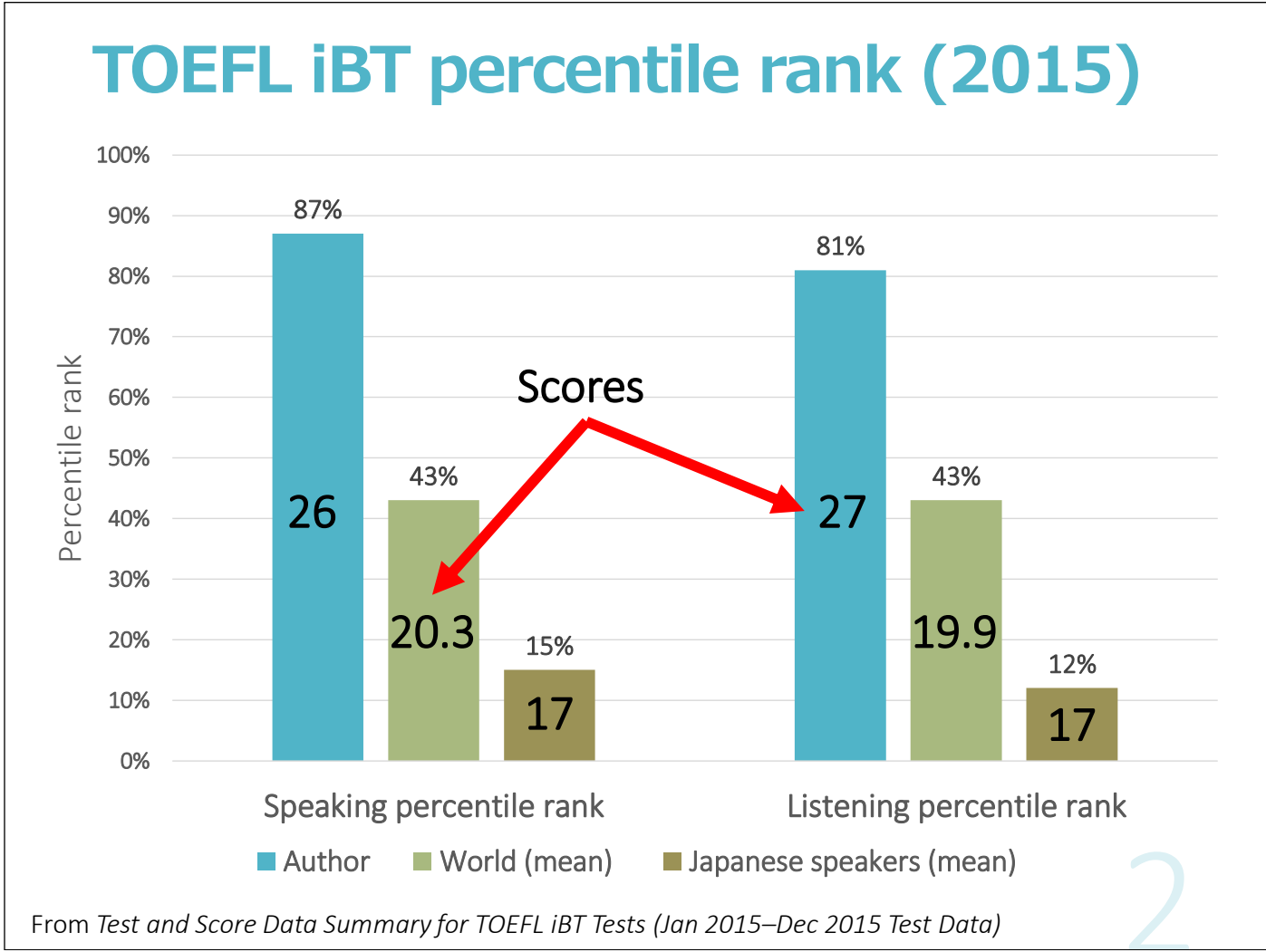


リプロダクション訓練による英語のリスニングおよびスピーキング改善

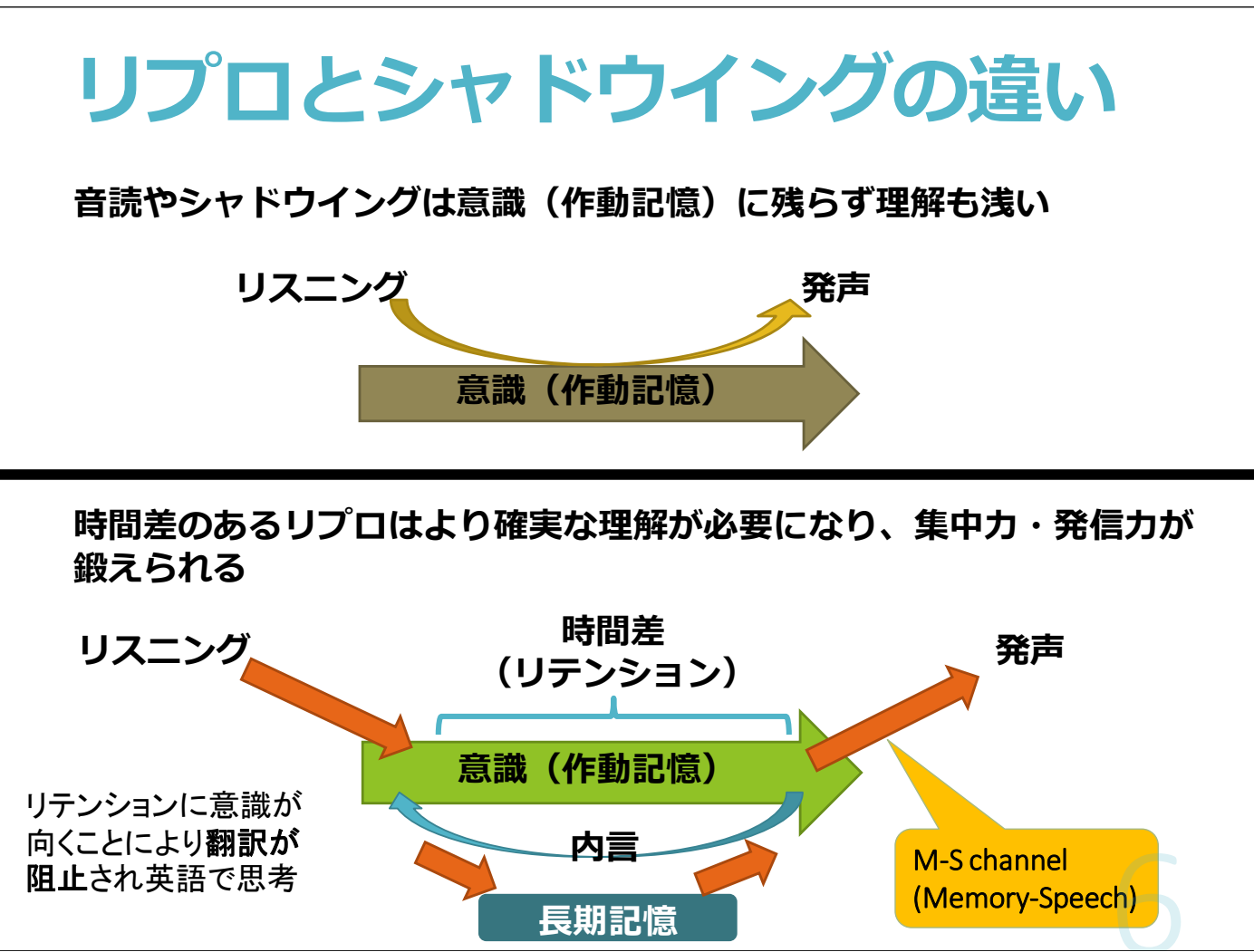
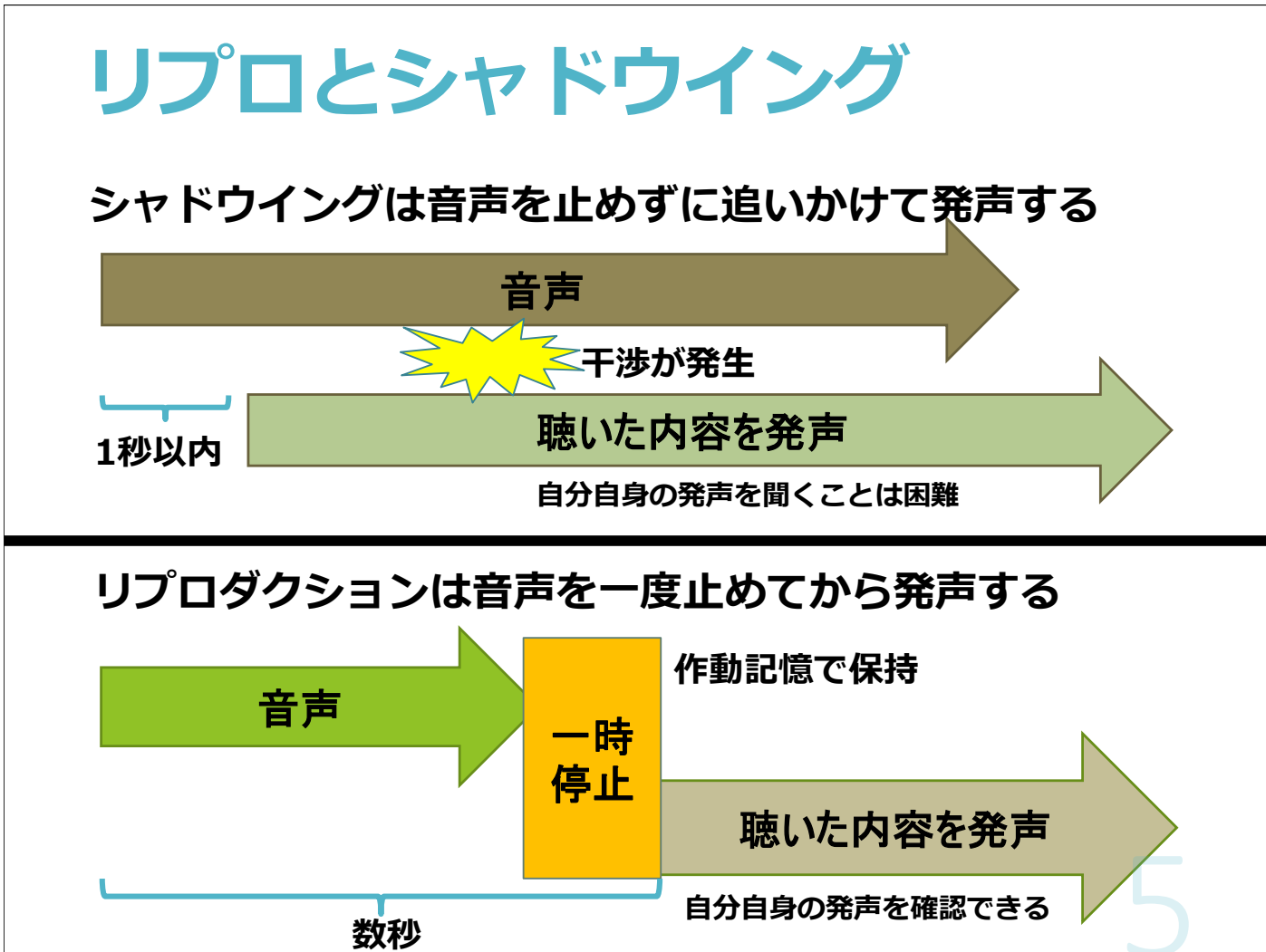
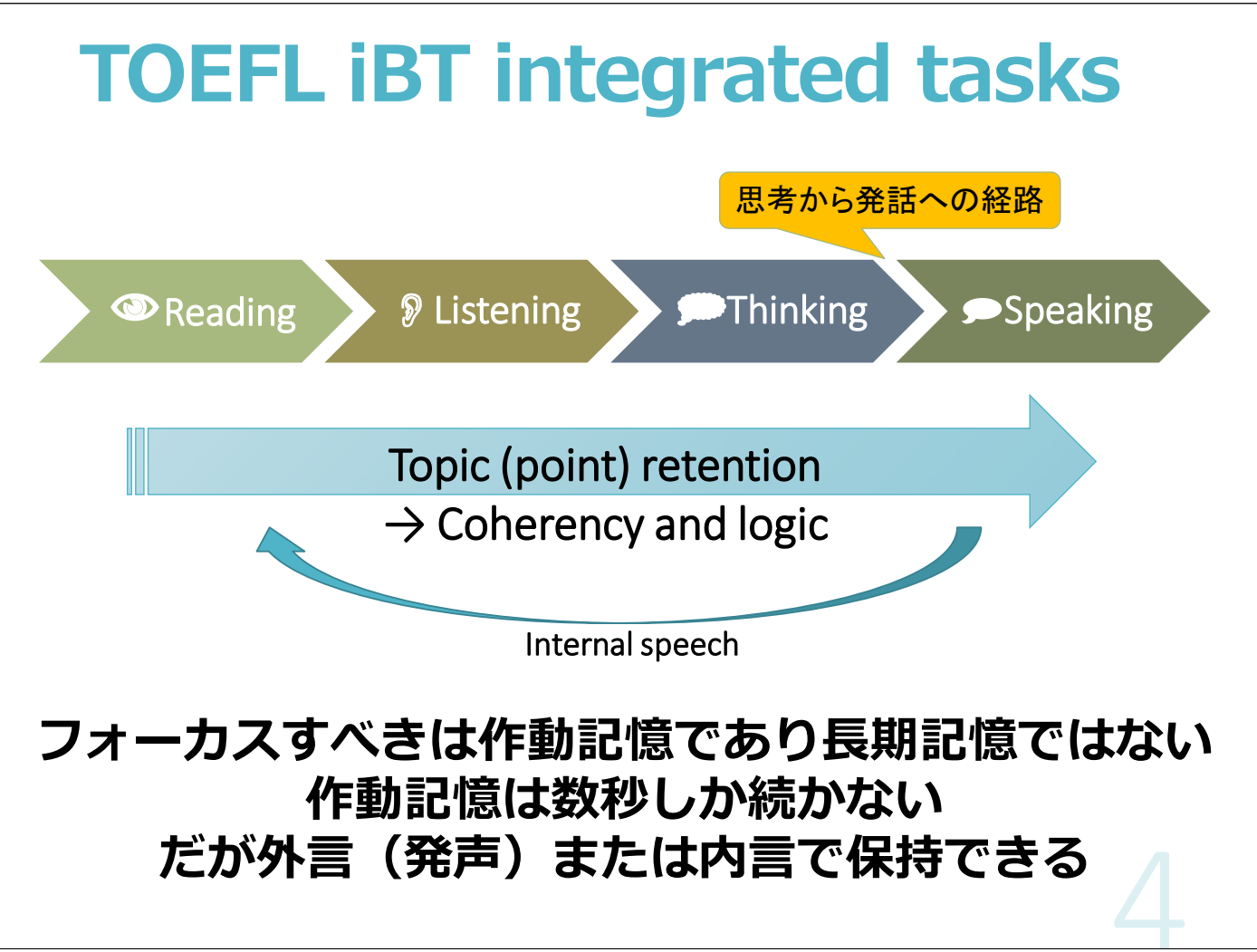
秋桜舎 代表：山本ゆうじ（サービス創新研究所 客員研究員）TOEFL iBT 111点、TOEIC 990点、英検1級
英語すいっち主宰 <https://www.facebook.com/English.Switch>



問題：スピーキング能力を上げるにはどうしたらよいか

■またはTOEFLの4技能統合問題のスコアを上げるには？
■語彙や表現を長期記憶として持っていたとしても発話につながらない（「英語を学んでも話せない」）

■作動記憶（working memory）のリテンション技能の向上が必要



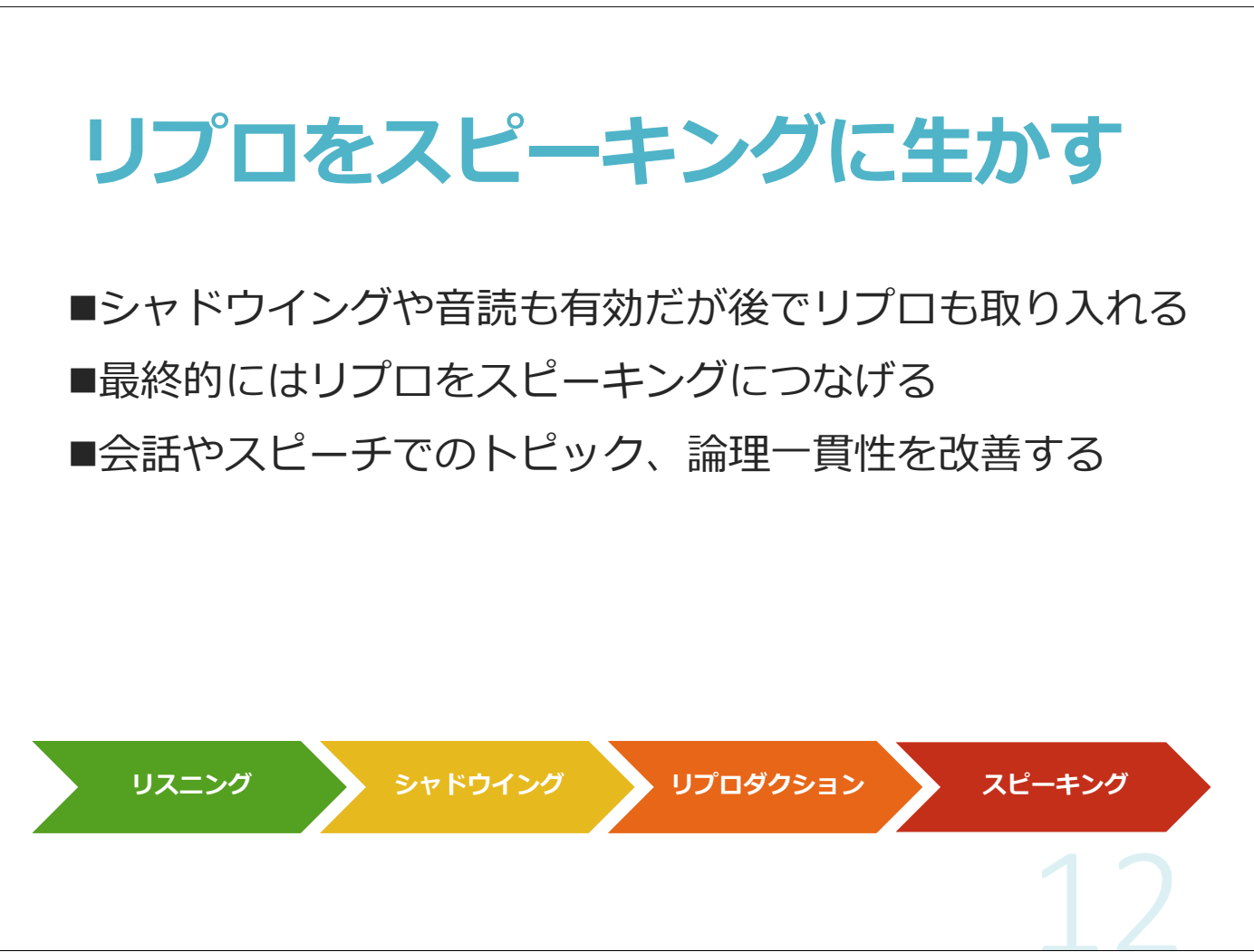
- リプロの利点
- リスニングの集中力が付く
 - 発声するために確実に聴き取る必要がある
 - 英語を話している実感
 - 意識に丸ごとフレーズを入れて留める
 - 文法の間違いに気づく、発音も磨ける
 - 発声時には英語音声を聞かず、自分の発声に集中できる
 - 特別な教材は不要
 - 自分の好きな音声コンテンツ(ポッドキャスト、オーディオブックなど)で練習できる
 - 実用的なコンテンツを聴くこと自体が役立ち、楽しめる
 - 「練習のための練習」だけでなく

- リプロ練習に必要なもの
- スマートフォン
 - （タブレットやパソコンでも可能）
 - コンテンツ
 - VOA（Voice of America）Special English
 - ポッドキャスト・ビデオキャスト
 - オーディオブック

- リテンション改善
- 発声と内言による記憶保持
 - Millerのマジック ナンバー7±2
 - リテンションに意識が向くことにより翻訳が阻止され英語で思考（通訳訓練ではないので翻訳できてもしない！）
 - チャンクは連結して伸ばせるが長くするのが目的ではない
 - リプロの対象は作動記憶
 - 長期記憶にするのが目的ではない

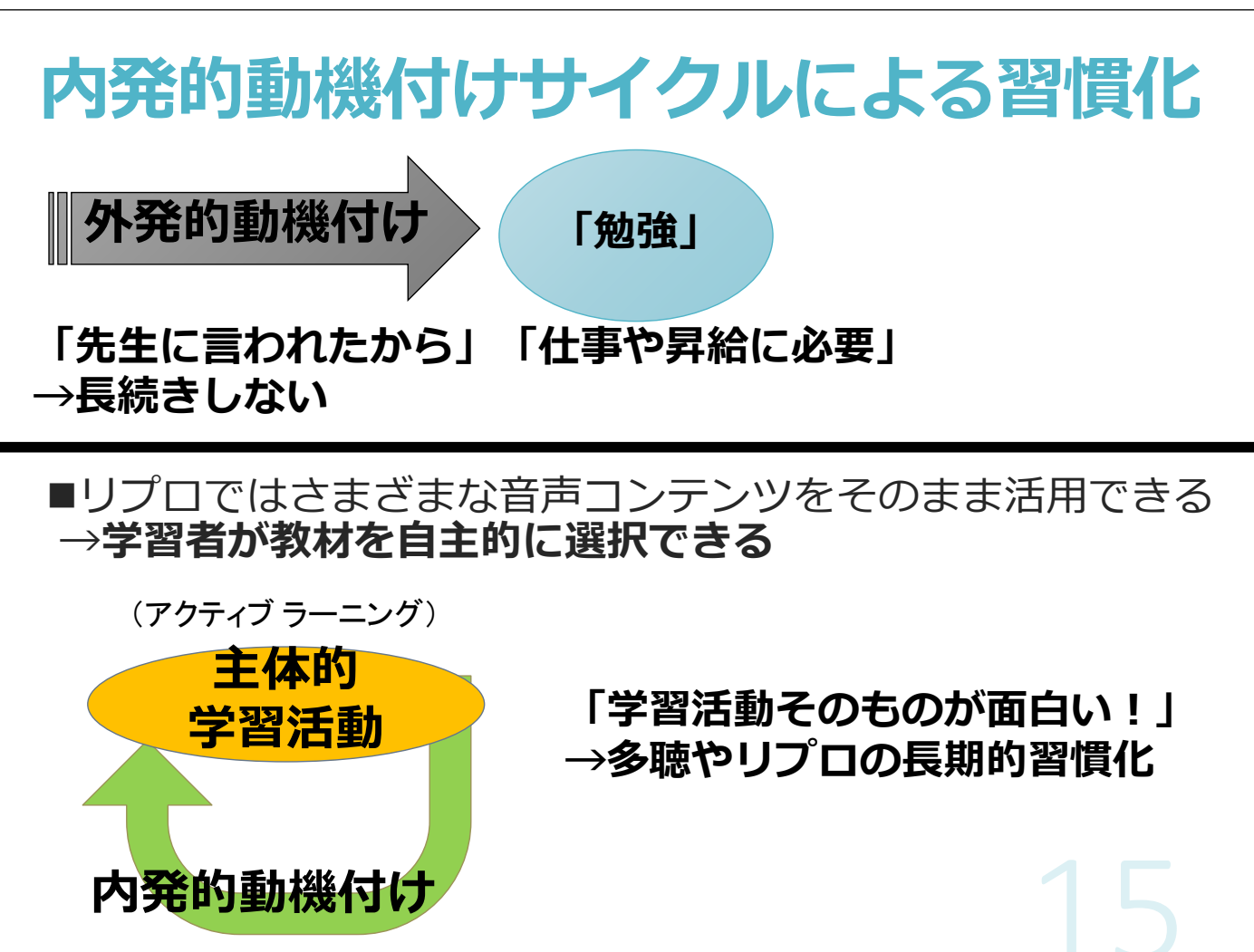
- リスニング改善としてのリプロ
- 一度しか聴かず、スクリプトは見ない
 - リスニング時の集中の訓練
 - 基本は正確な繰り返し
 - ディクテーションと類似
 - 正確に発声するには正確に聴き取る必要がある

- 発話時の発音と文法確認
- （声に出さずに）内言でまずチェックする
 - リプロはリフレーズ訓練とは切り離す（リフレーズすることを前提とはしない）
 - 聴きとれず発声できないならコンテンツのレベルが高すぎる
 - やさしい語彙と内容のコンテンツを選ぶ



- 難しいリプロを実践しやすくする
- 95%以上リスニングできないと「記憶→発話」ができない（リフレーズしてしまう）
 - VOA Special Englishでも難易度が高い
 - 少なくともTOEICリスニング満点が必要
- ↓
- 5語程度から始める
 - アプリによる速度調整

- 学校での導入方法、応用練習
- 対面指導
 - 応用練習
 - リフレーズ、要約
 - フレーズをセンテンスに構築
 - 遅延を増やす
 - 予測と補完



- 今後の課題と展望
- シャドウイングとリプロの比較研究
 - 授業でリプロを使った結果をお知らせください
 - 大修館書店『英語教育』でリプロのコラム連載（2017/4より）
 - リプロ研究会に参加しませんか？
 - 「英語すいっち」Facebookページ <https://www.facebook.com/English.Switch>